



森下豊年まつり

夏の暑さがまだ残る9月26日・27日、1年の五穀豊穡を祈願する豊年まつりが森下大森神社で行われました。

祭りの音頭が始まると、小学生なども参加した踊り手たちが中央の櫓を囲み、華麗な手踊りを披露しました。

手踊りの後、八木節保存会のお囃子が鳴り始めると、森下青年団員による威勢のよい掛け声とともに八木節が始まります。八木節が披露されると、たくさんの観客が詰めかけ、会場は盛り上がりを見せました。

今年の豊年まつりでは、森下地区から2基、川額地区から1基のかつぎまんどろが用意され、合計3基が境内に飾られました。祭りの最後は、目玉となる七回巡り。今年はまんどろ同士をつっかけ(ぶつけ)合う、つっかけまんどろが復活しました。

中学生たちはまんどろの重さに苦戦しながらも櫓の周りを巡ります。櫓の周りを巡りながら、相手のまんどろを見つけてはつっかけ合い、まんどろ同士がぶつかるたびに観客から大きな歓声が上がっていました。

地元の方たちに守られ、伝統的な豊年まつりは今年も開催されました。

- 1 中学生も飛び入りで参加し披露される八木節 2 八木節保存会によるお囃子 3 4 5 境内に飾られた3基のまんどろ 6 櫓を囲んで披露される八木節 7 大きな声を掛け合いながら7回巡りの終わりを告げる 8 まんどろをつっかけあう 9 揃いの浴衣で魅せる手踊り 10 まんどろを担ぎ櫓を巡る

